

問題3 次の流れ図の説明を読み、各設問に答えよ。

[流れ図の説明]

在庫マスタファイルをトランザクションファイルの内容で更新し、新マスタファイルを作成する流れ図である。

なお、流れ図中で用いている最高値とは、システムで表現できる最大の値であり、どの入力データと比較しても大きいと判定される値である。

[在庫マスタファイルについて]

在庫マスタファイルのレコード形式は次の図1のようにになっている。商品コードの昇順に整列済みであり、同じ商品コードを持つレコードは存在しない。

削除フラグは、取り扱い中の商品であれば0、取り扱わなくなった商品であれば1が設定される。

商品コード	商品名	在庫量	削除フラグ
MCODE	MNAME	ZAICO	FLG

図1 在庫マスタファイルのレコード形式

[トランザクションファイルについて]

トランザクションファイルのレコード形式は次の図2のようにになっている。商品コード、日付、時間の昇順に整列済みであり、同じ商品コードを持つレコードは複数存在する場合がある。

商品コード	日付	時間	処理区分	数量	商品名
TCODE	HIZUKE	JIKAN	KUBUN	SURYO	TNAME

図2 トランザクションファイルのレコード形式

図2の処理区分は次のような値と意味を持つ。

表 トランザクションファイルの処理区分の値と意味

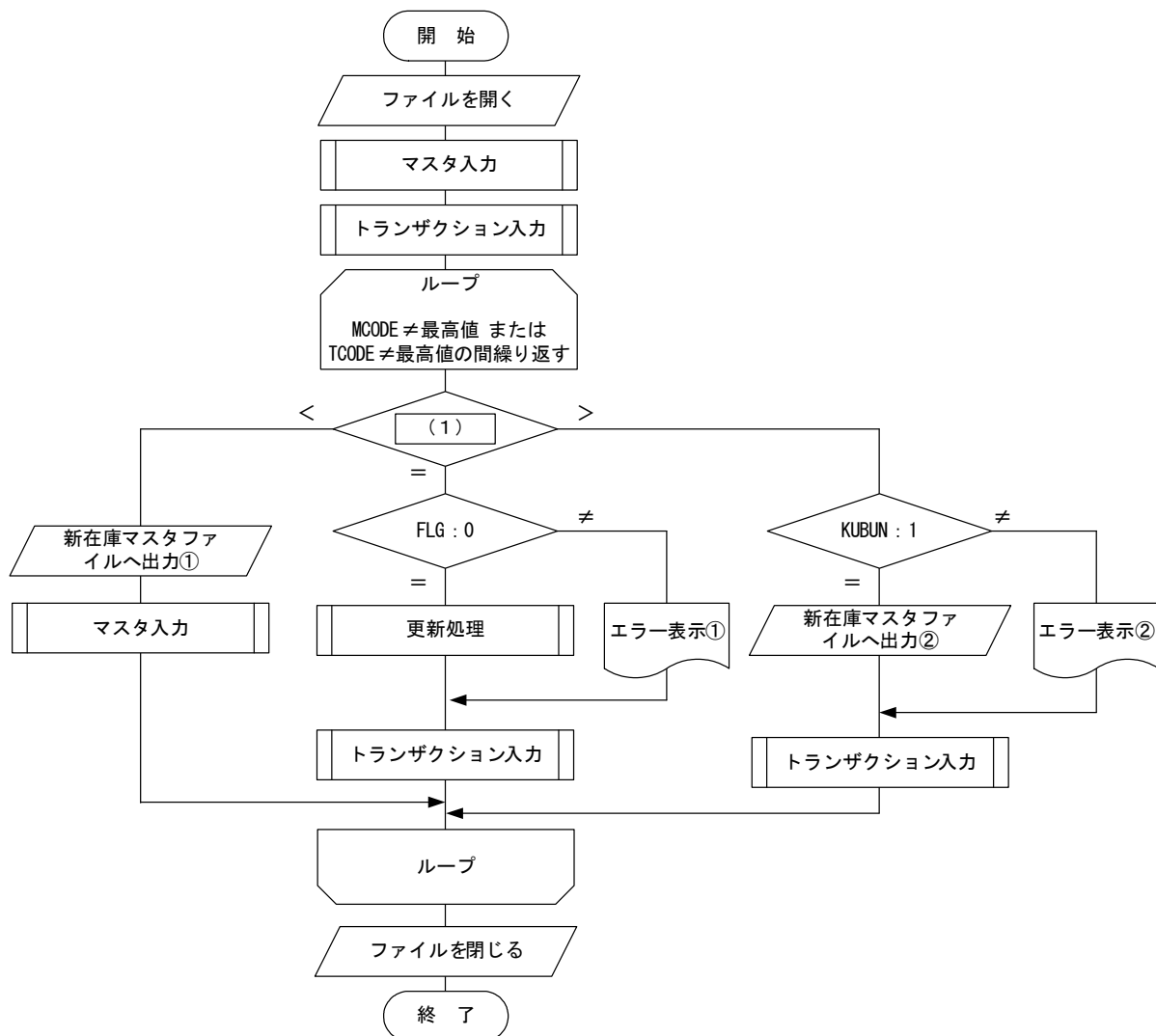
値	意味
1	新規レコードとして在庫マスタファイルに追加する
2	数量を在庫量に加える
3	在庫量から数量を減じる
4	削除フラグに1を設定する

処理区分が1の場合は全ての項目に値が設定されるが、処理区分が2と3の場合は商品コードと数量、処理区分が4の場合は商品コードに必ず値が設定される。

[更新処理について]

1. 在庫マスタファイルの商品コードがトランザクションファイル中に存在しないレコードは、そのまま新マスタファイルに出力する。
2. トランザクションファイルの商品コードが在庫マスタファイル中に存在しないレコードは、処理区分が1の場合はトランザクションファイルのレコードの内容を新マスタファイルに出力するが、処理区分が1以外の場合はエラーとする（更新に該当するレコードが存在しない）。
3. 在庫マスタファイルの商品コードとトランザクションファイルの商品コードが一致する場合、表にあるような処理を行うが、在庫量より多い数量を減じようとする場合と削除済みのレコードに対する更新はエラーとする。
4. 何らかのエラーがあるトランザクションファイルのレコードの処理は行わない。

[流れ図]



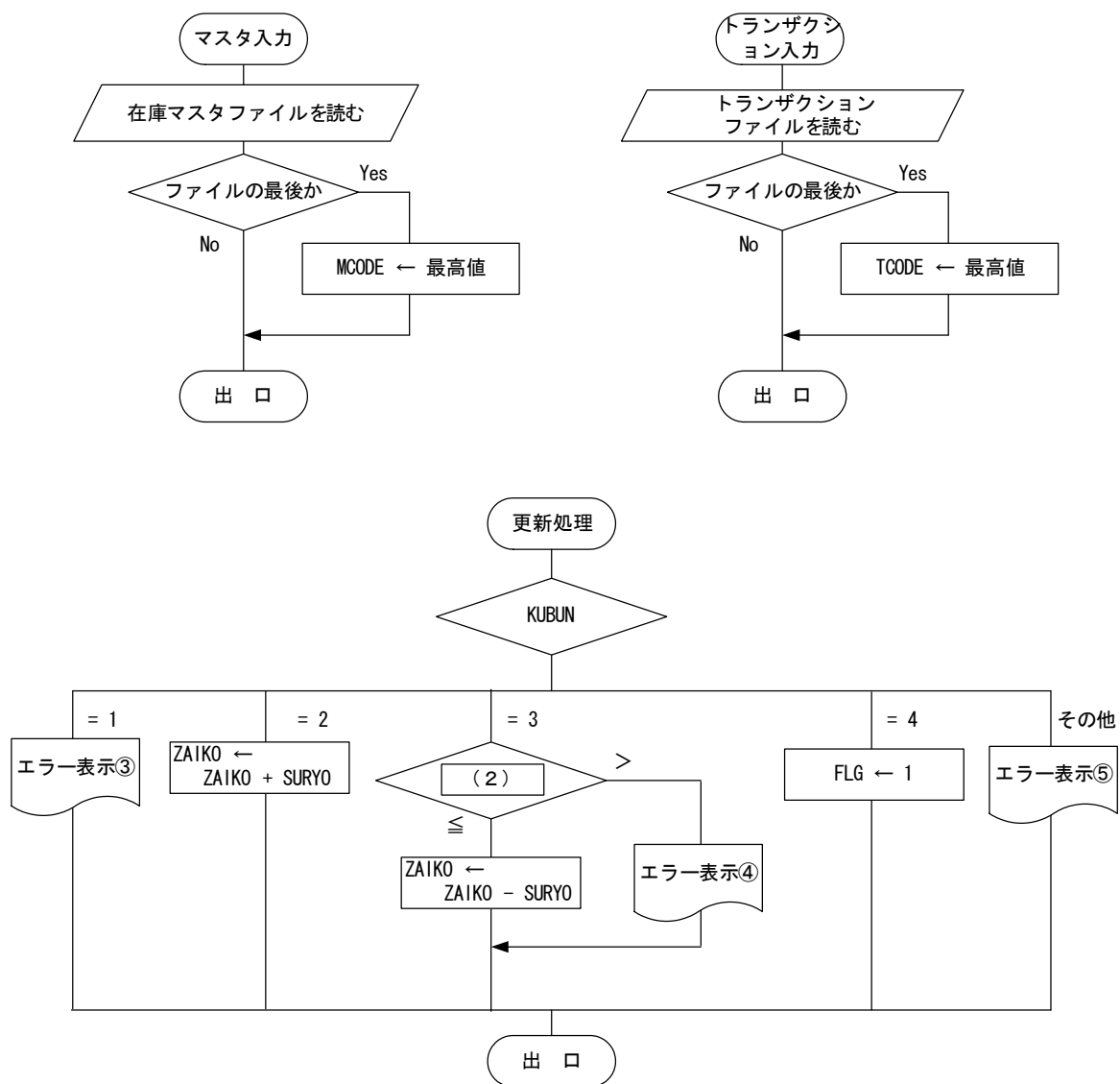


図3 在庫マスタファイルを更新する流れ図

<設問1> 流れ図中の  に入るべき適切な字句を解答群から選べ。

(1), (2) の解答群

ア. FLG : KUBUN

イ. KUBUN : FLG

ウ. MCODE : TCODE

エ. TCODE : MCODE

オ. SURYO : ZAIKO

カ. ZAIKO : SURYO

＜設問 2＞ 流れ図中の“新在庫マスタファイルへ出力①”と“新在庫マスタファイルへ出力②”で出力すべき内容を解答群から選べ。

新在庫マスタファイルへ出力①で出力すべき内容：

新在庫マスタファイルへ出力②で出力すべき内容：

**(3) , (4) の解答群**

ア. TCODE, TNAME, SURYO, 0

イ. TCODE, MNAME, ZAIKO, FLG

ウ. TCODE, TNAME, SURYO, KUBUN

エ. MCODE, MNAME, ZAIKO, FLG

＜設問 3＞ 流れ図中の“エラー表示①”から“エラー表示⑤”の部分で表示すべき内容として適切な字句を解答群から選べ。

エラー表示①の内容：

エラー表示②の内容：

エラー表示③の内容：

エラー表示④の内容：

エラー表示⑤の内容：

**(5) ～ (9) の解答群**

ア. この商品コードはトランザクションファイル中に存在しません

イ. この商品コードは在庫マスタファイル中に存在しません

ウ. 在庫量が不足しています

エ. 削除済の商品を更新しようとした

オ. 削除できません

カ. 処理区分が1～4ではありません

キ. 新規で追加しようとした商品コードは既に使われています